

平成27年11月5日
JR北海道釧路支社

「冬の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では本格的な冬を迎えるにあたり、踏切手前でスリップして止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する「冬型」の踏切事故を防止するため、北海道の「冬の交通安全運動」の実施期間にあわせて、11月11日から「冬の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の踏切や駅で、ドライバーの皆様には「踏切手前では早めのブレーキで確実な一旦停止」、「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」、また「車が動かなくなった時には発炎筒や非常ボタン等で列車を止める」ことなどを呼びかけます。



踏切事故防止キャンペーンの様子

- 1 実施期間
平成27年11月11日(水)から11月20日(金)までの10日間
- 2 実施内容
◎踏切における安全通行の呼びかけ
 - ・ 踏切等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
 - ・ 主要駅・列車内での業務用放送での呼びかけ
 - ・ 特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
 - ・ 関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問して呼びかけ
 - ・ ラジオCMの放送
- 3 実施計画
(別紙) 釧路支社管内における事故防止PR活動

<冬期における踏切事故>

平成27年度10月末時点における踏切事故は0件で、平成26年度同期と比べ増減はありませんでした。冬期間は踏切手前での一旦停止と安全確認など、基本的な交通ルールを守ることが踏切事故をなくすためには、とても大切です。また、路面状況が厳しくなる冬期間(12月～3月)における踏切事故の発生件数は、平成26年度では0件ですが、統計上冬期間に発生した踏切事故は全体の約7割を占めていることから、冬本番を迎えるこれからの時期は、車が踏切手前でスリップして止まりきれずに踏切に進入し、列車と衝突する等の「冬型事故」の発生が懸念されます。

(別紙)

釧路支社管内における事故防止PR活動

各地区において踏切事故防止の啓発活動を行います。啓発に際しては、ノボリを掲出し各地区のJR社員が踏切事故防止キャンペーン用ポケットティッシュやリーフレットを配布しJRご利用の皆様や踏切通行者の皆様に広く踏切事故防止のお願いを呼びかけていきます。また、一部の踏切における啓発活動につきましては鉄道警察隊の方々にも参加いただき啓発を行う予定となっております。

帯 広 地 区	A団地踏切（西帯広駅構内） 11月13日(金) 11:00～11:45
釧 路 地 区	木工場踏切（釧路駅構内） 11月11日(水) 10:45～11:15

※ なお、当日の天候等により、一部予定を変更する場合があります。